

福島小だより

学校通信



めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
令和4年3月1日 第13号

甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○春、来たる ～旅立ちと出会いの季節です～

先月の中旬には雪が降る天気もありましたが、先週末あたりから日中は、春の到来を思わせるような暖かな陽気が続いています。県内の梅林は白やピンクの可憐な花をつけ、満開の便りが届き始めました。季節は着実に春に向かっていきます。保護者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

群馬県はまだ蔓延防止の措置が敷かれており、新型コロナの対応には気の抜けない状態が続いています。そんな中、学校では、手洗いやマスク着用やこまめな換気などのコロナ対策と、子どもたちの学びの充実との両立を図りながら学校の運営を行っています。

いよいよ6年生は、卒業という大きな節目を迎えます。小学校6年間の思い出を大切に、新たなステージへ旅立って行ってほしいと思います。また、1～5年生は、今年度のまとめをしっかりとやって進級に備えてほしいと思います。

保護者の皆様には、今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

○全校朝礼 ～受けた恩は忘れず、自分にできることをする～

「人のために尽くす」をテーマに、校長室と各教室をオンラインで結んで行いました。この時期は過去に大きな地震が起きており、防災意識を持つとともに、震災の記憶を風化させないために、震災の話題を扱いました。

27年前に起きた阪神淡路大震災と11年前に起きた東日本大震災で、私が感じたことや体験したことを話しました。

まず、阪神淡路大震災の時に、被災地に入ってミニFMラジオ局を作り、音楽を流して被災者の方を励まし続けた若者の話。次に、私が東日本大震災の被災地で行った支援活動で見聞した、自衛隊員の方々の懸命な活動や、真剣に支援物資の配付活動をしていた方の話。この方々は、みんな被災者の方の気持ちを第一に考え、とても献身的に活動していました。普段の生活の中で困っている人がいれば、手を差しのべられるといいですね。



○6年生を送る会 ～仲良く過ごした日々に、感謝の気持ちをこめて～

5年生の運営で、各教室をオンラインで結んで6年生を送る会を行いました。1～4年生は学年ごとに、歌をうたったり劇をしたり、お世話になったことを振り返って言葉を述べたりして、感謝の気持ちを伝えました。どの学年の出し物も、とても立派で心のこもったものでした。5年生は、縦割り班活動の同じ班の6年生へ、感謝のメッセージを添えた寄せ書きを贈りました。6年生は、卒業式でうたう歌を披露してくれました。心に沁みる歌声でした。

全員で卒業を祝う、心温まる「6年生を送る会」になりました。

